

こんにちは

会社訪問記

リサイクルを主体に
減量化、適正処理をめざします。

名城サングリーン株式会社

(名古屋市西区)

中間処理を主体に産業廃棄物処理業務を手掛けていらっしゃる名城サングリーン株式会社。同社の関連会社である株式会社ドゥ・ナウにお伺いし、事業内容、今後の方針等について平田社長にお話をさせていただきました。

——創業されたのは何年でしょうか。

平田社長(以下平田に略)『昭和53年9月です。廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材の選別・破碎を行う会社として創業いたしました。収集運搬業務は、関連会社の株式会社ドゥ・ナウで行っております。社歴としてはドゥ・ナウの方が古いですね。』



平田社長

——産業廃棄物処理に対する基本姿勢を教えてくださいませんか。

平田『当社の場合、産業廃棄物は燃やすとか、埋めるという手法を取るのではなく、再利用を主体に業に取り組んでおります。具体的に述べると、建設系廃棄物の場合、建設現場にパレットを置き廃棄物を回収しますね。その時の選別の仕方は、可燃物・不燃物で分けられるのが一般的です。しかし、それは再利用を目的とする選別法ではなく、燃やせる物、埋める物に分けるという発想から出てきていると思います。当社では、選別と破碎を徹底して行い、もう一度資源として再利用できる状態にして市場に還流しています。再生できるものは何らかの形で資源に戻すことが大切と考えております。』

——再利用推進のために中間処理施設をさらに拡充するご予定はありますか。

平田『現在、建設廃材、ガラスくず及び陶磁器くずの破碎施設を建設中です。この施設は石膏ボードを粉砕し、ふるいにかけ地盤改良剤にするものです。』



社名/名城サングリーン株式会社 所在地/名古屋市西区大野木5丁目59
代表者/平田尚樹 設立/昭和53年 従業員/38名(関連会社も含)
TEL/052(501)5771 営業種別/収集運搬・中間処分
取扱い品目/燃えがら、廃プラスチック類、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず及び陶磁器くず、建設廃材

——現在、従業員は何名いらっしゃいますか。

平田『名城サングリーンとドゥ・ナウを合わせ、グループ企業としては38名です。』

——社員教育には何かされていますか。

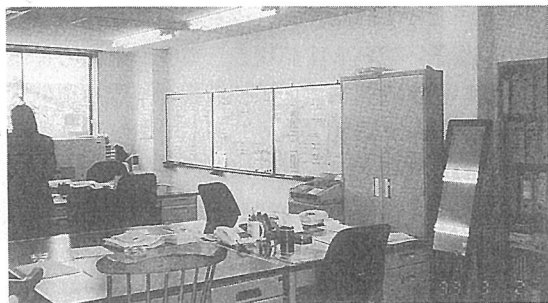
平田『安全操業と確実な業務を心がけるように指示しています。とにかく、早くやるとか、多くやろうとか無理に考えず、事故のないよう徹底させています。』

——人材確保についてはどのようにお考えですか。

平田『優れた人材を採用しようと思うならば、作業環境の整備と良好な人間関係の構築ができる会社であることが大切です。もちろん、給与面の配慮もしなければなりません。できる限り仕事をしやすい環境をつくるよう心がけています。』

——最後になりましたが、社長にとって理想的な企業像とは何でしょうか。』

平田『お客様に密着した形で仕事を行い、キメ細かなサービスが可能な機動性を持つ会社ですね。自社でできることはフルに行い、総合力で勝負。お客様が当社と取り引きをすることにに対し、メリットを見い出していただけることが重要だと思います。そして、他社に負けない経営戦略があればいいのではないのでしょうか。』



社内